

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

1 基本方針

入居者の尊厳を守り、安心して楽しく生活できる環境と良質なサービスの提供に努める。
職員の人材育成に努め、経営意識を持って、よりよいサービスが提供出来るよう努める。
共生社会の一翼を担う地域福祉の推進と、信頼される施設作りを目指す。

2 今年度重点事業目標

- (1) 全室個室ユニット型施設の特徴を活かした安定的経営
 - ア 「個室」の特徴を活かし入居者のプライバシーを確保するとともに「リビング」で他者とのコミュニケーションが図れるよう努める。
 - イ 一人ひとりに合わせた丁寧なケア（個別ケア）を行い、安心して普段の生活が営めるよう努める。
 - ウ 入居者の人権を守り、虐待、身体拘束、事故防止に取り組む。
 - エ 短期入所生活介護事業を窓口として、地域の病院、施設、居宅介護支援事業所と連携しながら、困っている高齢者及びその家族に迅速に必要なサービスの提供を行う。これにより地域社会に貢献するとともに、施設経営の安定化（入所稼働率96%、短期入所稼働率90%）を図る。
- (2) チームや多職種連携で安全・安心な福祉サービスの提供
 - ア ケアプランは、本人並びに家族のニーズと真摯に向き合い、多職種間連携のもと、PDCAサイクルに基づいたケアを実施する。
 - イ 認知症等によりコミュニケーションが難しい入居者の気持ち寄り添ったケアに努める。
 - ウ 多職種が連携し、口腔ケア、適切な食事形態、姿勢の調整等で誤嚥性肺炎を予防するとともに、生活リハビリなどの楽しみとなじみのある活動を通して、重度化予防と機能維持に努める。
 - エ 胃ろう注入や喀痰吸引等医療行為が必要な方に、安全な医療的ケアを提供する。
 - オ 家族や職員間の連携を密にし、その人らしい看取り期のケアが提供出来るよう努める。
- (3) 組織力強化のための人材確保、人材育成、離職予防
 - ア 職員の離職防止に努める。
 - イ 職種、階層別の研修を受講し、知識・技術の習得と職員の資質向上に努める。
 - ウ 介護福祉士等の資格取得を推進する。
- (4) 家族交流と地域福祉の推進
 - ア 入居者の希望により外出行事を行い、家族や地域との交流を図る。
 - イ 敬老会や秋祭りなど施設の大型行事をとおして家族や地域住民、ボランティアとの交流を図る。
 - ウ 居宅介護支援事業は、地域と連携を図り、地域で在宅生活を支えるという視点で支援に努める。
- (5) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実
 - ア ICT 機器・ソフトウェア(介護記録ソフト)導入により、介護の負担軽減と入居者の安全・安心な環境作りに努める。
 - イ 子育て、家族介護の支援など、ワークライフバランスを意識した働きやすい職場作りに努める。